【令和7年度 政策・調整会議】

件名：第2次川崎市総合都市交通計画（素案）の策定について

日時：令和7年8月20日（水）10：40～10：50

場所：本庁舎7階特別会議室

●付議理由

計画の策定（平成25年3月）から概ね10年が経過し、今後直面する急速な高齢化や人口減少、ICTを活用した新たなモビリティの普及、脱炭素社会へ向けた動きのほか、路線バスの運転手など様々な交通の担い手不足が深刻化するなど、計画を取り巻く状況の変化を踏まえ、全体見直しを行い、新たな総合都市交通計画を策定するため。

●付議概要

「第2次川崎市総合都市交通計画（素案）」を策定する。

<素案>

○策定の考え方

多様化する人の移動と暮らしに着目し、市民の暮らしやすさと移動しやすさを組み合わせた持続可能な交通環境の形成を図る。

○交通政策の目標、交通戦略

目標1 首都圏機能の強化及び活力ある本市都市構造の形成に向けた交通環境の整備

- (1) 本市拠点機能及び拠点間連携の強化
- (2) 首都圏機能の強化に資する広域的な都市間の連携、空港・新幹線駅へのアクセス強化
- (3) 臨海部の交通機能強化

目標2 誰もが安全、安心、快適に利用できる交通環境の整備

- (1) 安全・安心・快適な交通環境の整備と交通安全対策の推進
- (2) 人にやさしい交通環境の整備と社会参加の促進等に向けた取組の推進

目標3 災害に強い交通環境の整備

- (1) 災害に強い交通基盤の整備
- (2) 災害発生時等における帰宅困難者対策の推進

目標4 地域に応じたきめ細やかなまちづくりを支える身近な交通環境の整備

- (1) 社会の変革期に適応した地域公共交通ネットワークの形成
- (2) 駅周辺等の特性に応じた交通・交流環境の整備及び公共交通の利用促進

目標5 脱炭素社会の実現に向けた交通環境の整備

- (1) 公共交通利用促進と道路交通円滑化
- (2) 次世代自動車の普及等による交通の脱炭素化
- (3) 環境に配慮した自動車利用の推進

○目標値の設定及び進行管理

市民の実感に即した目標値を設定する。また、本計画の進行管理において、社会環境の変化や傾向を的確に把握し、施策の方向性等の見直しに活用するためモニタリング項目を設定する。

●結論

案のとおり了承。